学校番号	303

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ｃ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「新編　数学Ｃ」　（数研出版）						
副教材等	３TRIAL　数学Ⅲ＋Ｃ（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・数学は、自分で問題を解かないと理解が進みません。出来る限りたくさんの問題に取り組んでください。分からない所は皆と相談してみましょう。自分とは違う見方が発見できるかもしれません。
・授業で分からない所が出てくれば、積極的に先生に質問してください。あなたの質問が周りの人の理解の役に立つかもしれません。
・授業用のノートと問題集用のノートを用意してください。
授業用のノートでは板書を写すだけでなく、考え方等、その他の参考事項も書いておきましょう。問題集の問題は、自分で解き、その際途中の式なども書くようにしましょう。解答をし、間違った問題は再度、解くように習慣付けてください。
・家庭学習として、必ず復習をしてください。また、定期的に課題を提出してもらいます。
最後まであきらめずに取り組みましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
ベクトル・複素数平面・式と曲線における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身につける。
ベクトル・複素数平面・式と曲線において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
ベクトル・複素数平面・式と曲線について事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	ベクトル、複素数平面及び式と曲線における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身につけている。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、ベクトル、複素数平面及び式と曲線における数学的な見方や考え方を身につけている。	ベクトル、複素数平面及び式と曲線の考え方に関心を持つとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1節　平面上のベクトル	1.ベクトルとその意味 2.ベクトルの演算 3.ベクトルの成分 4.ベクトルの内積	a:・ベクトルの基本的な概念や記号の意味を理解している。 ・成分表示されたベクトルの大きさを求めたり演算ができる。 ・内積を用いて，２つのベクトルのなす角を求めることができる。 b:・ベクトルの実数倍と平行の関係について考察できる。 ・ベクトルを成分表示で表した場合の演算について，その考え方や意味を考察できる。 c: ベクトルに関心を持ちそのよさを自分なりに活用しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・提出課題 ・振り返りシート ・パフォーマンス課題

	第2節　ベクトルの応用	1.位置ベクトル 2.ベクトルの図形への応用 3.ベクトル方程式	a:・位置ベクトルの意味を正しく理解し，分点の位置ベクトルを求めることができる。 ・分点の位置ベクトルや内積を利用して図形の性質を調べる方法を理解している。 b:・位置ベクトルを用いて図形を処理する考え方のよさを認識できる。 ・位置ベクトルを用いて図形の性質を多面的に考察することができる。 c:・位置ベクトルに関心を持ち図形の考察に活用したり，多面的に調べたりしようとする。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・提出課題 ・振り返りシート ・パフォーマンス課題
2学期	第3節　空間ベクトル	1.空間の点の座標 2.空間のベクトル 3.ベクトルの成分 4.ベクトルの内積 5.位置ベクトル 6.空間の図形	a:・空間における点の位置の表し方や２点間の距離の求め方を理解している。 ・空間においてもベクトルが定義でき，平面上のベクトルと同様に扱えることを理解できる。 ・内積を用いて，空間の２つのベクトルのなす角を求めることができる。 b:・空間座標の概念を認識し，空間における点の位置や2点間の距離を考えることができる。 ・平面のベクトルから類推により空間のベクトルの性質を数学的に考察し表現することができる。 c:・空間のベクトルに関心を持ち，その基本的な概念や性質を調べ，空間の図形の考察に活用しようとする。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・提出課題 ・振り返りシート ・パフォーマンス課題

	第1節　複素数平面	1.複素数平面 2.複素数の極形式 3.ド･モアブルの定理 4.複素数の図形への応用	a:・複素数の和・差・実数倍の図表示の仕組みを理解している。 ・複素数を極形式で表すことができ，極形式による積や商を理解している。 ・ド・モアブルの定理とその使い方を理解している。 b:・複素数の和・差は点の平行移動や平行四辺形の頂点として表されることを考察できる。 ・極形式による複素数の乗法や除法の仕組みを考察できる。 c:・複素数平面に関心を持ち，複素数の図表示や絶対値および極形式について理解しようとする。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・提出課題 ・振り返りシート ・パフォーマンス課題
3学期	第1節　2次曲線	1.放物線 2.楕円 3.双曲線 4.2 次曲線の平行移動 5.2 次曲線と直線	a:・２次曲線の方程式から焦点，準線，軸，頂点を読み取れる。 ・２次曲線の平行移動を理解して，平行移動した後の方程式から焦点，準線，漸近線，軸などを求められる。 ・２次曲線と直線の位置関係について理解している。 b:・幾何学的な条件を方程式で表現し，その方程式を処理することで２次曲線の性質を考察できる。 ・曲線の平行移動を方程式で表現できる。 c:・２次曲線と平行移動の関係について興味・関心を示し，調べようとする。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・提出課題 ・振り返りシート ・パフォーマンス課題

	第2節　媒介変数表示と極座標	1.曲線の媒介変数表示 2.極座標 3.極方程式 4.いろいろな曲線	a:・ある条件を満たす点の軌跡を媒介変数表示できる。 ・極座標の意味や極座標と直交座標の関係を理解している。 ・直交座標 x，y の方程式と極方程式を相互に変換することができる。 b:・条件を満たす点の軌跡を媒介変数で表し，その特徴を考察することができる。 ・図形を極座標の考え方や見方を用いて表現し，その特徴を考察できる。 c:媒介変数表示の意味に関心を持ち、積極的に事象の考察に活用しようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・提出課題 ・振り返りシート ・パフォーマンス課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度